

2 学年通信

新宮町立新宮東中学校
令和7年4月14日 第3号
文責:江頭 俊輔

[学習面の確認を行いました!]

4月8日(火)の2時間めに学年集会を行い、学習面の確認を行いました。学校生活の中でも授業はとても大きな割合を占めます。ひとつひとつの授業の学習内容が1年後の高校入試の出題範囲となります。進路を考える上でも、日々の授業への取り組み方はとても大切です。学年集会の中でも菊池先生から説明があったように、**学習効果が最も高い学習活動は「他者に教える」というものです。**(一方で、一番学習効果が低いのは「(ただ)講義を聞く」というものです。)



学びの作法

聴き合う(訊き合う)関係を大切に
互いにわからないことを尋ね合い、声をかけ合い、
互いに依存できる関係を作る

ルール1 分からなくなったら仲間に「教えて」と恥ずかしがらずに訊く

ルール2 訊かれた人は、自分のアイデアを惜しみなく伝え、
相手が納得するまで説明を繰り返す。

ルール3 できる人から「教えてやる」と言うてはいけない。

授業で「分からないことを尋ね合える関係」を作りましょう!

新宮東中学校の授業では「学びの作法」を大切にしています。(左図) お互いに分からないことを聴き合い、お互いに依存できる関係を作ることをめざしています。この作法の中でも、2学年のみなさんに最も頑張ってもらいたいことは、**「ルール1 分からなくなったら仲間に『教えて』と恥ずかしがらずに訊く」という部分です。**学びの作法を通した学習において、大前提となるのが、この「分からない人が自ら

尋ねる」ことです。授業を受けていて、分からないことがあるのはとても自然なことです。分からないことがあるから学習しているのが学生ですから。分からないことはあって当然、「分からない」を発信してほしいと思っています。「分からない」を発信することで近くの級友は必ず助けてくれるはず。説明する側にとっても学び・成長の機会になります。積極的に自分から「分からない」を発信し、みんなで授業を創り上げましょう。

[めざせ! 一番高いペーパータワー!]

学びの作法を共有した後に、班でペーパータワーを作成するリレーション活動を行いました。4人班で30枚の紙を用いて、作戦を立てて最も高いペーパータワーを作成することをめざしました。最も高いものは193cmと江頭の身長よりも高いタワーができて驚きました。**自分から意見を出し合い、聴き合い、素敵な作戦会議ができました。この姿を学習にも生かしていきましょう。**

